

平成 30 年度 海外研修実施結果（概要）

開拓者の国際感覚の涵養と農業経営の向上を図り、農業経営の発展と開拓営農の推進に寄与することを目的とし、海外研修事業を行っております。

本年度はオーストラリア・ニュージーランドにおいて、平成 30 年 11 月 10 日から 18 日（9 日間）の研修を実施し、15 名（うち事務局 3 名）が参加しました。

研修日程および研修概要は次のとおりです。

【日程表】 2018年度 海外研修事業					
■ 月日曜 ■	■ 都市名・滞在場所 ■	■ 現地時間 ■	■ 交通機関 ■	■ 内 容 ■	
1 11月10日（土）	羽田	18:30 19:00～20:00 22:20	NH879	羽田空港南側第3ビル3F 建群2のナ・農会 オリエンテーション・結団式 空路、シドニーへ 機内にて夕食	（機内 泊）
2 11月11日（日）	シドニー	9:55 11:00～17:00 19:00	専用バス	機内にて朝食 到着後、市内へ移動 シドニー市内観光 ホテルへ（夕食）	（シドニー 泊）
3 11月12日（月）	シドニー	8:30 9:00～10:30 12:00～13:00 14:15～15:45 19:00～	専用バス 徒歩	ホテル発 視察①／セミナー Heat and Livestock Australia Essen Café Campbelltownにて昼食 視察②／肉用牛等畜産家 The Pines Moss Vale Angus Stud Stacks Tavernaにて夕食	（シドニー 泊）
4 11月13日（火）	シドニー シドニー クライストチャーチ	5:15 6:00～7:30 7:30～8:30 10:00～11:00 12:00～13:00 18:40 23:50	専用バス 専用バス 専用バス	ホテル発 視察③／マーケット Flemington Markets マーケットにて朝食 視察④／酪農畜産 Glenmore Dairy Farm Zilver Restaurantにて昼食（中継） 昼食後、空路へ 空路、クライストチャーチへ 機内にて夕食 到着後、ホテルへ	（クライストチャーチ 泊）
5 11月14日（水）	クライストチャーチ	7:40 8:00～8:30 10:30～11:30 14:00～15:30 16:30～18:30 19:00	専用バス 専用バス 専用バス	ホテル発（6:00～Hにて朝食） 視察⑤／スーパーマーケット New World 視察⑥／セミナー Federated Farmers Office, Ashburton 視察⑦／酪農畜産 Rakaia地区 市内観光 市内レストランにて夕食	（クライストチャーチ 泊）
6 11月15日（木）	クライストチャーチ クイーンズタウン クイーンズタウン	8:00 10:05 11:05 15:00頃～ 19:00	専用バス N2547 専用バス 専用バス	ホテル出発 空路、クイーンズタウンへ 到着後、移動 視察⑧／果樹園 Molyneux Fruit Growers ホテルへ（夕食）	（クイーンズタウン 泊）
7 11月16日（金）	クイーンズタウン	7:30 終日 20:00～	専用バス	ホテル出発 ミルフォードサウンド観光 カラムルター（解散式）	（クイーンズタウン 泊）
8 11月17日（土）	クイーンズタウン クイーンズタウン シドニー	9:00～12:00頃 15:25 16:45 21:30	専用バス 専用バス 専用バス	市内観光（スーパーマーケット等） 終了後、空路へ 空路、シドニー経由、羽田空港へ 空路にて夕食	（機内 泊）
9 11月18日（日）	羽田空港	5:05		送迎後、解散	

※発着日時、交通機関及び視察訪問先については現地の航空状況により変更になることがあります。

【航空会社】NH:全日本空輸 NZ:ニュージーランド航空

【研修概要】

28回目となる本年度の海外研修は、3年振りにオセアニア地区とし、オーストラリア・ニュージーランドの農業事情を視察・研修することとしました。

昨年末に TPP11 が発効し、畜産・酪農分野でも今後、同協定加盟国である両国との競合が現実味を増すなかで、2ヶ国の農業事情や経営環境の違いを理解していただくことを主要な目的として研修を実施しました。

11月10日

19:00 結団式（研修での連絡事項、自己紹介他）

22:20 全日空 NH879 便にてシドニー空港へ

11月11日

9:55 シドニー空港到着。

到着後、この日はシドニー市内を視察観光し、ホテルにて夕食。

11月12日

8:30 ホテル発→豪州食肉家畜生産者事業団（mla）

9:00 mla にて豪州の畜産・食肉事情につきセミナーを受ける。

豪州の牛肉は70%（生産量は200万ト）を輸出し、その約半分は日本とアメリカ向けである。近年は、中国向けも増加している。



14:15 シドニー郊外の THE PINES MOSS VALE ANGUS STUD（肉牛繁殖農家）を視察。

農場主のロビン氏は75歳のご婦人であり、800㏊の広大な放牧地にアンガス牛400頭を家族のみで飼養している。（繁忙期は雇用する）



19 : 00 夕食は、シドニー市内のレストランで。

11 月 13 日

5 : 15 ホテル出発→フレミントン マーケット（シドニー最大の青果・花卉市場）へ。市場の時間帯に併せ、早朝に出発。



9 : 30 シドニー郊外の GLENMORE DAIRY FARM（酪農経営農家）を視察する。

オーナーのギャビン氏は 200 年続く酪農経営を引き継いでいる。
400 頭（約 160 ha）に 220 頭の搾乳牛を放牧し、年間 160～180 万ℓの生乳を生産している。



18 : 40 シドニー発 NZ888 便にてクライストチャーチへ。

00 : 25 クライストチャーチ空港へ到着。

11月14日

7:40 ホテル発→市内の大手スーパー「New World」を視察。
乳製品や食肉担当の責任者から説明を受ける。



10:30 クライストチャーチ郊外のアッシュバートンにある FEDERATED FARMERS(政府公認の農業者連盟)にてセミナー受講。

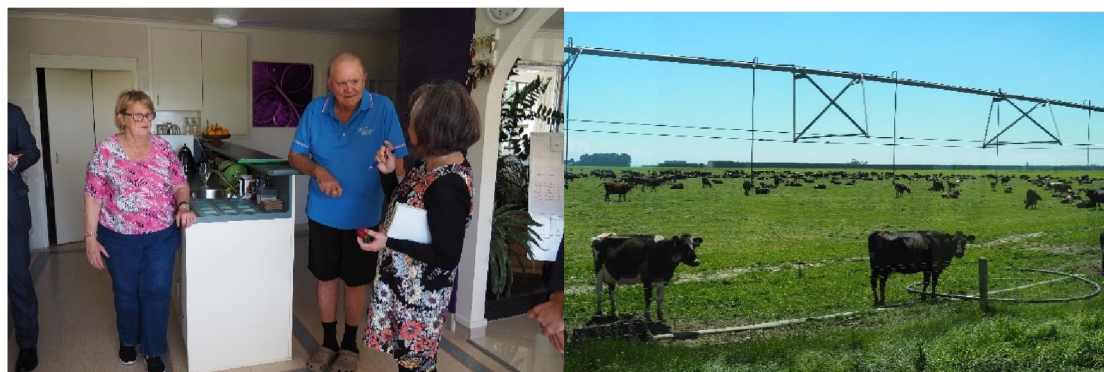


14:00 DAIRY FARM RAKAINA（大規模酪農）を視察。

オーナーのローリンソン氏とご婦人に自宅にて説明を受ける。

1968年から酪農を開始し、現在ではジャージー系で1500頭を放牧酪農している。乳脂肪も高く、販路も安定しており、現場は共同経営者が管理している。

ちなみにニュージーランドでは、約60%が家族経営とのこと。



11 月 15 日

10:05 クライストチャーチ空港発 NZ647 便にてクイーンズタウン空港へ。

11:05 クイーンズタウン空港到着。(時差 2 時間、飛行時間は 3 時間)

14:30 「45° SOUTH」(サクランボ果樹園)

専務のジムさんとオーナー夫人のパティーさんに説明を受ける。

果樹園は 70 ha と大規模。約 3 万本を所有している。

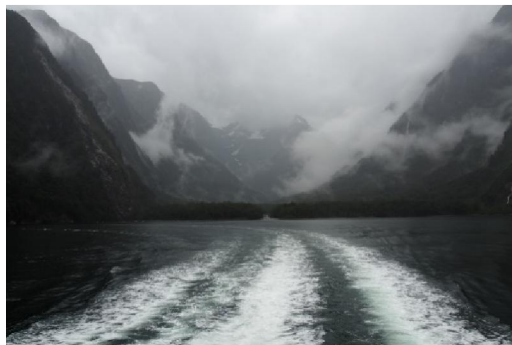
生産物の 99% を主に中国へ輸出。

サクランボのパック工場が併設されており、ピーク時には 80 人が臨時雇用されている。



11 月 16 日

7:30 この日は、フィヨルドで有名なミルフォードサウンド他、ニュージーランド特有の自然風景を見学した。



19:30 クイーンズタウン市内に戻り研修最後の夕食会(解団式)を開催した。

11 月 17 日

9:00 ホテル発→市内視察・観光→空港



クイーンズタウンの素晴らしい風景を眺望した後、近郊のワイナリー&チーズ工房、アロータウンを見学し、クイーンズタウン空港へ。

15:25 クイーンズタウン空港発 NZ831 便にてシドニー空港へ。

21:30 シドニー発 NH880 便にて定刻通り一路羽田へ。

11 月 18 日

5:05 羽田空港到着。入国審査後、解散した。

(研修を終えて)

視察した2カ国はいずれも畜産・酪農大国であり、世界貿易に占める割合も高く、我が国における影響も今後徐々に高まることが予想されます。

今回の研修では、日本とは自然条件や経営環境の異なる条件下で、自身の経営の持続的安定と世界を見据えた経営方針を強く感じ取ることができ、参加者自身の今後の経営への参考となったものと考えます。

また、研修先のバランスもセミナー（2ヶ国）、肉牛（繁殖放牧）、酪農（2ヶ国）、果樹、市場視察（2ヶ国）と限られたタイムスケジュールで無理なく視察研修できたものと思います。